

# 株式会社 FCE

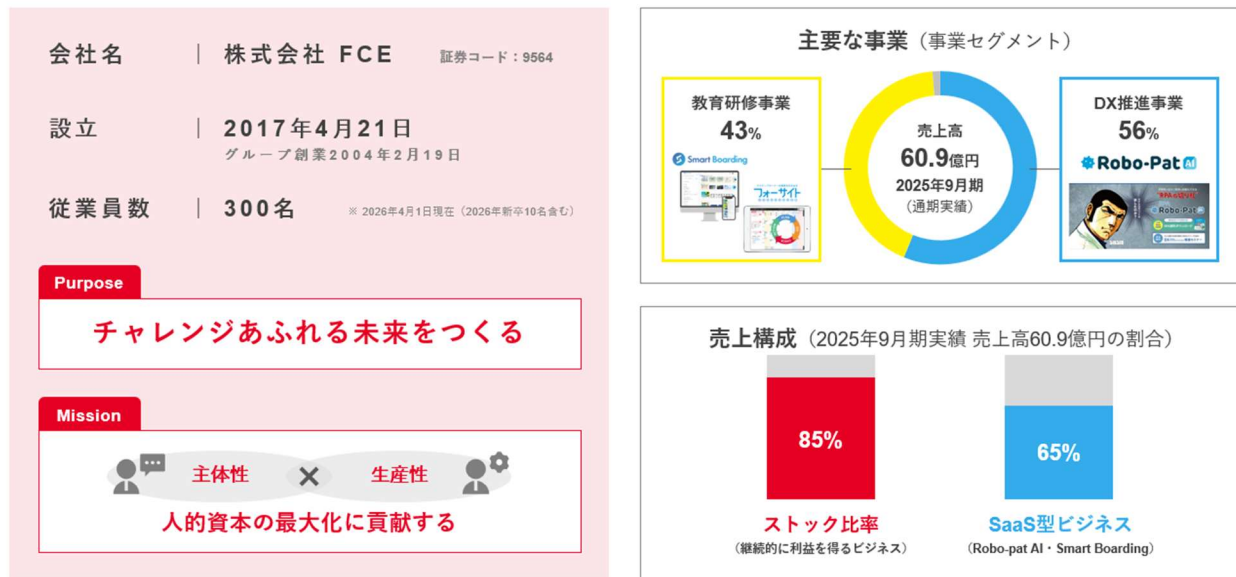
(東証スタンダード:9564)

## ■会社概要

当社の企業としての存在目的を意味するパーパスは、**チャレンジあふれる未来をつくる**

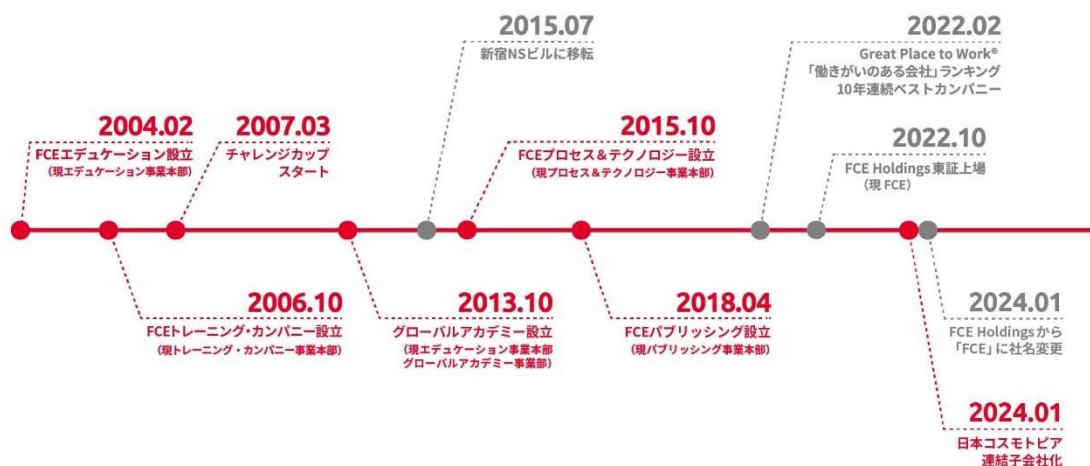
そのパーパスを実現するためのミッションは、「**主体性**」×「**生産性**」で、**人的資本の最大化に貢献する**

人的資本最大化の機会を提供することを **DX 推進事業・教育研修事業**によって行っています。



現在、DX 推進事業の売上に占める割合が 50%を超えました。また、ストック売上も全体の約 85%を占めるまでになっており、経営の安定性は増えています。

## ■沿革



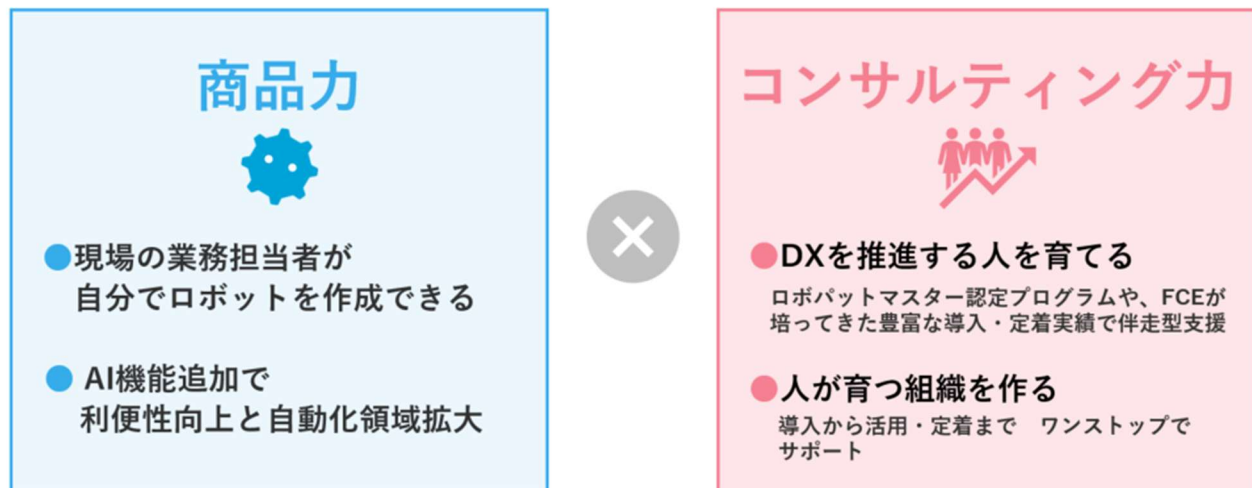
2004年に教育事業から始まり、その後、さまざまな事業を展開してきました。その中で企業から「生産性をあげる研修やコンサルティングをしてほしい」という依頼が増えはじめ、研修やコンサルティングだけではなく、テクノロジーを使って生産性を高める支援ができないかを考え、RPA 事業 (現 DX 推進事業) と出会いました。時代の流れの後押しもあって、ストック型のビジネスでもあった RPA 事業は急成長を果たします。そしてコロナを機に、教育研修事業も、e-ラーニングをはじめとするストック型ビジネスへ転換をはかっています。

## ■ 主要事業

### 1. DX 推進事業

業務効率化ツール「ロボパット AI」※を提供しています。導入・勉強会・業務改善コンサルティングサービスをワンストップで提供しています。「ロボパット AI」はプログラミング知識を持たない人でもパソコン業務を自分で自動化できるところが大きな特徴です。業種、業界を問わず、中堅・中小企業や部門単位で導入を検討している大企業に非常に好評で、解約率は1%台と低水準を継続しております。

※2026年3月2日より「RPA ロボパットDX」から「ロボパットAI」へ製品名称を変更いたしました



### 2. 教育研修事業

教育事業では、「7つの習慣」®授業プログラムの提供や、中高生向けのビジネス手帳「フォーサイト手帳」の販売などを行っています。「フォーサイト手帳」は中高生向け手帳市場ではトップシェアを獲得しており、紙とアプリ、どちらの提供も可能です。研修事業では、社員教育の人財育成プラットフォーム「Smart Boarding」をはじめ、新入社員研修や各種インハウス研修、新研修コンテンツの「レジリエンス研修」等の各種研修プログラムの提供をしています。



**約350,000人、1,200校に導入**

振り返り力を高め、毎日書くことでPDCAを回す力を培うことを目的に開発したフォーサイト手帳。紙の媒体でスタートし、2023年度は業界トップシェアを獲得。2023年よりアプリ版をリリースし、紙とアプリ、どちらの提供も可能。




**社員教育制度構築のプラットフォーム**

OJTも研修もeラーニングもこの一つのシステムで実現、専任コンサルタントが教育制度構築の支援も行う社員教育プラットフォーム。

レジリエンス（心の回復力）を鍛える  
**レジリエンス研修「レSSL®」**

販路拡大に向け、販売パートナー企業を募集開始。



## ■ 2026年9月期第2四半期業績

### 2026年9月期 第2四半期 | 決算概要

売上高

第2四半期の売上高はDX推進事業・教育研修事業ともに増収となり、前年同期比で14.0%の増収

経常利益

第2四半期の経常利益は主にSaaS型ビジネスの増収の影響により、前年同期比で14.5%の増益

単位：百万円	2025年9月期		2026年9月期 上期				2026年9月期 通期	
	2Q (1-3月)	上期 (累計)	2Q (1-3月)	上期 (累計)	前年同期比 (3か月)	前年同期比 (6か月)	通期予想	進捗率
売上高	1,637	3,012	1,846	3,434	+209 (+12.8%)	+421 (+14.0%)	6,800	50.5%
営業利益	400	649	440	742	+40 (+10.1%)	+93 (+14.4%)	1,130	65.7%
経常利益	410	666	451	763	+41 (+10.1%)	+96 (+14.5%)	1,160	65.8%
親会社株主に 帰属する当期純利益	281	456	309	539	+28 (+10.1%)	+83 (+18.3%)	865	62.4%
EBITDA※	422	691	466	792	+44 (+10.5%)	+101 (+14.7%)	1,203	-
経常利益率	25.1%	22.1%	24.5%	22.2%	△0.6%pts	+0.1%pts	17.1%	-

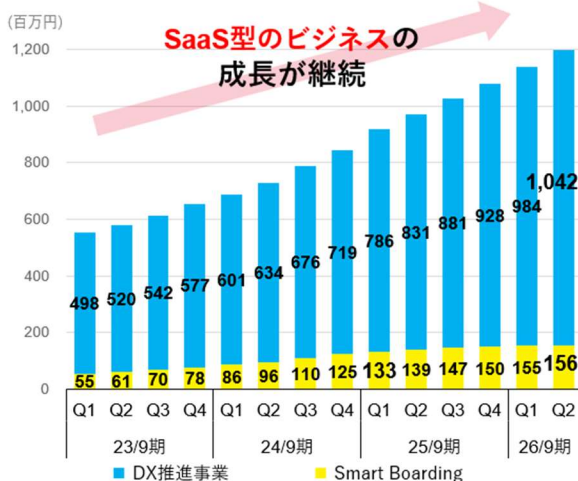
© 2026 FCE Inc.

※ EBITDA=営業利益+償却費 (減価償却費+のれん償却+保証金償却+長期前払償却)  
単位：百万円 (百万円未満切捨て)

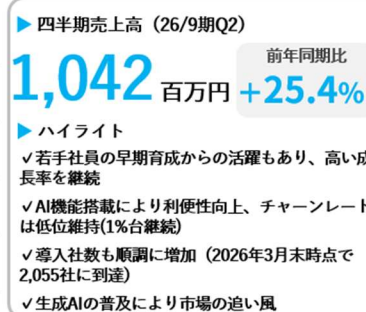
「ロボパット AI」や「Smart Boarding」の DX 推進分野が好調な成長を継続しており、当社収益の中核を担っています。

RPAを活用したDX支援SaaS ※1 「ロボパットAI」及び社員教育のSaaS「Smart Boarding」を提供する  
SaaS型のビジネスが順調な成長を継続しており、引き続き、当社収益の中核を担う

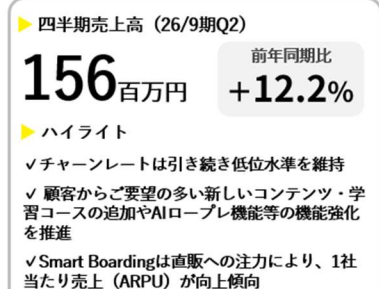
#### SaaS型ビジネス四半期推移



#### DX推進事業 売上高



#### Smart Boarding 売上高



#### SaaS型ビジネスMRR ※2



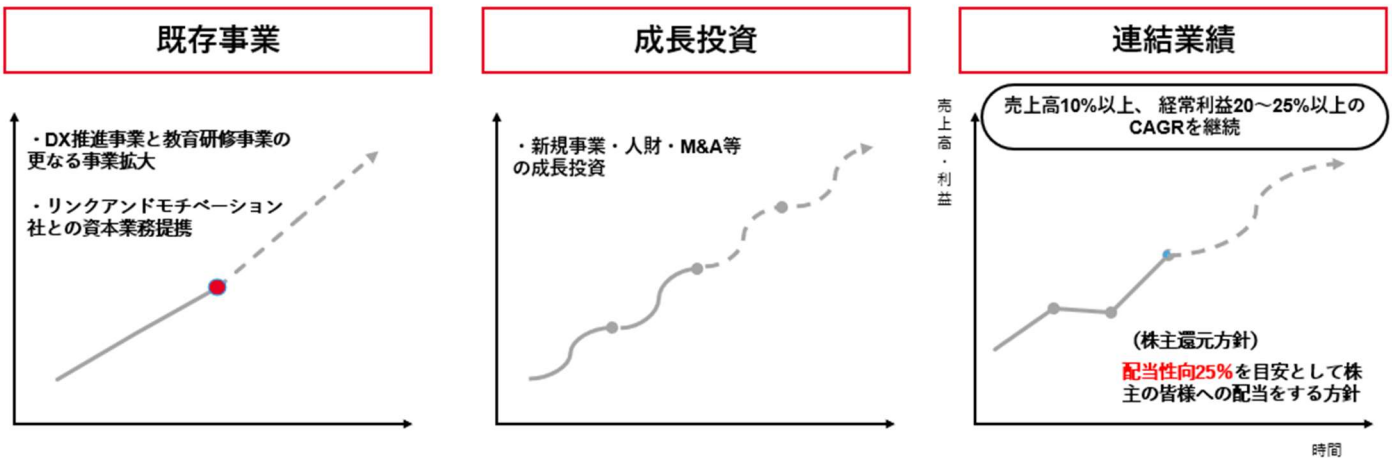
※1：SaaS (Software as a Service) 契約が継続する限り毎月定額の収益になるサブスクリプションモデル  
※2：MRR (Monthly Recurring Revenue) 2026年9月期第2四半期末時点の毎月繰り返し発生する売上金額

※ 単位：百万円 (百万円未満切捨て)

## ■ FCE の事業方針

既存事業はリンクアンドモチベーション社※との資本業務提携により一層の成長機会を獲得。

各事業の成長戦略および成長投資により連結業績の向上、利益の安定的成長を目指します。



※：株式会社リンクアンドモチベーション（東京証券取引所プライム市場上場、証券コード：2170）モチベーションエンジニアリングによる企業変革コンサルティング・クラウドサービス、モチベーションマネジメント事業（育成・制度・風土変革支援）、エントリーマネジメント事業（採用支援）、ベンチャー・インキュベーションを展開する企業です。

## ■ FCE の事業方針（2026年9月期 下期取組み重点事項）

既存事業は引き続き SaaS 型ビジネスであります、「ロボパット AI」と「Smart Boarding」を中心に事業成長を図ります。

両事業においては、昨今急激に需要が高まっている AI 機能や AI コンテンツを搭載し、商品力強化をしていきます。

新規事業は、2025年10月よりスタートした AI エージェント事業や AI 研修・コンサルティングの立ち上げに注力してまいります。

既存事業	成長投資（新規事業）
<p><b>Robo-Pat AI</b></p> <p><b>商品力強化①</b> 【AI文字入力アシスト】や【AIアドバイザー】に続き、更なるAI機能の搭載をし、より簡単によりスピーディーに業務自動化の実現を図る</p> <p><b>商品力強化②</b> 新シリーズ「ロボパットAI Agent Studio」との連携で、業務自動化領域の拡張へ</p> <p><b>Smart Boarding</b></p> <p><b>研修事業との相乗効果を企図</b> 導入先企業へ研修を提供、1社あたりのARPA(*)の向上を図る</p> <p><small>(*) Average Revenue Per Account (1アカウントあたりの平均売上)</small></p>	<p><b>AI OMNI AGENT</b></p> <p><b>事業の早期立ち上げ</b> 継続して投資を行い、マーケティングや営業活動の強化を図り、事業立ち上げと利益の創出の実現を目指す</p> <p><b>「AI研修・コンサルティング」</b></p> <p><b>AI研修の立ち上げ</b> 法人企業へ研修を提供し、社員のAIリテラシー向上を支援</p> <p><b>Rescle</b> レジリエンス研修</p> <p><b>経営課題の解決に向けた研修を提供</b> メンタル不調による生産性損失を予防するプログラム等を通じて、企業の持続的成長と人材力の底上げを支援 2026年よりパートナー企業募集を開始、展開の加速を図る</p>

## ■株主還元の方針

### ●配当方針

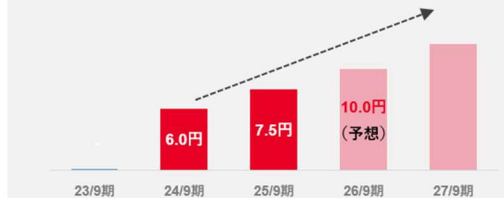
健全な財務体質の維持・向上を図りつつ、利益水準、今後の設備投資、フリー・キャッシュ・フローの動向等を勘案し、配当性向 **25%を目安**として株主の皆様への配当をすることとしております。内部留保につきましては、企業価値向上のための投資等に活用し、将来の事業発展を通じて株主の皆様へ還元させていただく所存です。

### ●株主優待と配当

2025年9月30日を基準日とする株主優待は、保有株式数100株以上で1,000円相当のデジタルギフト®を贈呈しました。（2026年については決定次第、開示予定）

配当につきましては、2025年9月期末は1株あたり7.5円の配当を実施。2026年9月期は2.5円増配し、1株あたり10円を予定しています。

### 配当性向25%を目安として株主の皆様への配当をする方針



※：2024年4月1日付で普通株式1株につき3株の割合で、2025年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っております。2023年9月期の期首に株式分割が行われたと仮定し、1株あたり配当金及び1株あたり当期純利益について当該株式分割調整後の数値を記載しております。

## ■資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について（更新）（2026年2月12日開示）

今後の持続的成長と中長期的な企業価値の向上を図るため、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について現状を分析・評価し、向上に向けた今後の取り組み方針について、決議（更新）いたしました。

詳細については、開示文書をご参照下さい。

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS05165/4701fd0d/a499/473e/9a9c/dd7630686f65/140120260212556107.pdf>



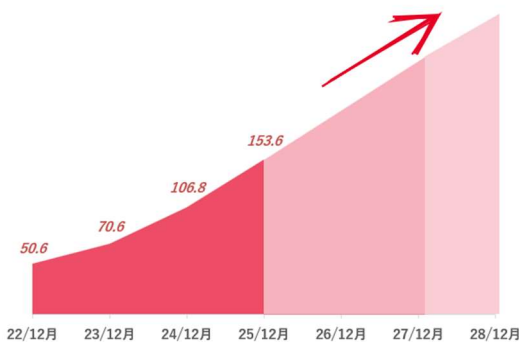
資本コストや株価を意識した経営の実現に向けた対応について：今後の方針

**ROE改善・資本コスト低減・期待成長率上昇で時価総額上昇を狙う。**

### 時価総額推移と今後の目標

右記3つの観点に基づき時価総額上昇を図り、27/12月を目標にプライム市場形式要件の充足を目指す。

（単位：億円）

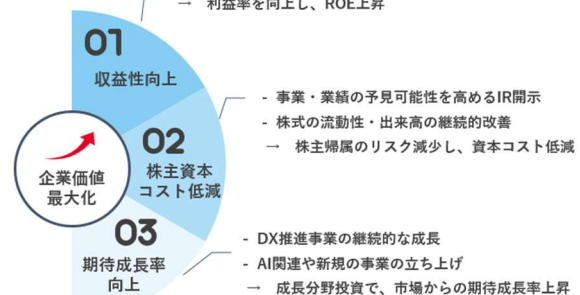


※上記数値は当社試算値であり、前提条件（成長率・割引率等）の変動でレンジは変動し得る。  
© 2026 FCE Inc.

### 目標達成に向けた方針

売上高10%以上、経常利益20~25%以上の成長を毎期実現。

→ 利率率を向上し、ROE上昇



$$PBR = ROE \times PER \approx \frac{ROE}{K_e - g}$$

$K_e$ : 株主資本コスト  $g$ : 期待成長率

**FCE GROUP**

株式会社 FCE IR サイト

<https://fce-hd.co.jp/ir/>



株式会社 FCE IR 公式 X (Twitter)

[https://x.com/fce\\_ir](https://x.com/fce_ir)

